

ワイルドランズで2頭目の象が死亡

2024年11月21日

昨夜、WILDLANDS Emmen で2頭目の雄象が死亡したことを、深い悲しみと落胆とともにお知らせします。これは、2021年2月19日に動物園で生まれたカヤンに関するものです。

先週土曜日に子象のナガーが突然死んで以来、象の群れは悲しみに暮れている。飼育員らは群れ全体を注意深く監視しており、昨日の朝、飼育員らはカヤンの体調が悪化していることに気づいた。死亡した子牛と同じ病気の症状が見られたため、直ちに対策が取られました。残念ながら、これらすべては無駄でした。

ユトレヒト大学獣医学部から、土曜日に死亡した子牛のさらなる検査の結果、恐ろしいゾウヘルペスウイルスが死因であることが判明したという悲しい知らせが届きました。それは、3歳の雄牛の無気力な行動も説明している。ゾウヘルペスウイルス (EEHV) は非常に危険なウイルスで、免疫系がまだ完全に発達していない若いゾウに主に感染します。

現在、WILDLANDS には2頭の若い雄牛（どちらも6歳）がまだ生息しています。安定した穏やかな環境から恩恵を受けるため、彼らは悲しんでいる家族グループから可能な限り隔離されており、私たちは彼らに最大限のストレスを与えないようにしたいと考えています。当然ながら、この2頭の象は厳重に監視されています。

群れはカヤンに別れを告げる時間を与えられ、その後カヤンもユトレヒトで検査を受ける予定だ。この雄牛も EEHV で死亡したと予想されます。この2頭目の死は、まだ悲しみに暮れる象の群れに深い衝撃を与えただけでなく、飼育員、従業員、そしてワイルドランズの常連客にも大きな影響を与えました。

ゾウヘルペスウイルスは、野生のゾウと動物園のゾウの両方にとって最大の脅威の一つです。残念ながら、これに対する予防法はまだなく、世界中の科学者が協力してワクチンまたは効果的な治療法の開発に取り組んでいます。WILDLANDS はユトレヒトの獣医学部と協力して長年この研究に貢献しており、突破口はもうすぐ見つかると思われます。しかし、過去1週間のワイルドランズでの出来事は、治療法やワクチンを迅速に開発することがいかに緊急に必要なかを示しています。

規模の大小を問わず、あらゆる寄付が研究に役立ちます。当社のウェブサイトでは、